



田端中だより

令和5年4月10日 第1号
北区立田端中学校
校長 障子 幹

<教育目標>

人権尊重の精神を培い、
国際社会と地域社会に活躍する生徒を育てる

<目指す生徒像>

自他を愛しむ生徒
生命を尊ぶ健やかな生徒
自ら学び、自己実現を目指す生徒

～ はじめまして よろしくお願いたします ～

しょうじ みき
障子 幹

今年度4月1日より区内の赤羽岩淵中学校から田端中学校に着任しました、障子幹でございます。着任して一週間余り、まだまだ眼前のことに追われる毎日ですが、これから、学校や生徒の様子、保護者の皆様、そして地域の皆様の願いなど、多くのことを学び、受け止め、学校づくりを進めてまいります。

先週の7日(金)、入学式で93名の新入生を迎え、全校生徒259名で今年度をスタートしました。今年度は16年目を迎え、ますます発展していく伝統ある学校です。地域やPTAの方々とお話する度に、その歴史の重さを感じております。これまでの歴史と伝統を踏まえ、私ども教職員一同、心一つにして教育活動に専念する所存です。これまでと変わらぬご支援のほど、よろしくお願いたします。

令和5年度のスタートにあたって (始業式より 一部抜粋)

私は田端中学校に赴任して、この学校の「目指す生徒像」を見て素晴らしいなと感じました。そして、この教育目標にはどんな意味があるのかを考えてみました。

- 「自他を愛しむ生徒」 自己(自分)と他者(友達)の理解を深め、お互いを大切にすること、という意味があること。
- 「生命を尊ぶ健やかな生徒」 生きているものすべてを大切に思うことのできる健康な心身をもとう、という意味があること。
- 「自ら学び、自己実現を目指す生徒」 学び続け、自分の目標に向かって努力をしよう、という意味があること。

この3つは、人として生きていく上で、とても大切なものだと感じました。私はこの教育目標が全校生徒に浸透していくように学校を創っていきます。

これだけでは、今までと変わらないと思いますが、私が目指している学校は、これにもう一つだけ追加していきます。それは「笑顔があふれる田端中学校を創る」ことです。私がここで言う「笑顔」とは、面白い動画などを見て笑うという「笑顔」ではありません。

例えば学習において、今までわからなかったことやできなかったことが、努力の末にやっとなり、できるようになった。そのときに「わかったぞ」「できたぞ」と思わず出てくる喜びの「笑顔」のことです。

また、行事などにおいて、友達と意見が衝突して「もうやめたい」「どうでもいいや」と思っていたことが、話し合いを重ね、互いのことを理解し合うことができたとき。そして、「いっしょに全力を尽くそう」と頑張って取り組んだ結果、納得できる結果となったときや、行事を成功させることができたときに出てくる満足の「笑顔」のことです。これらの「笑顔」をたくさん創っていきたいです。それが積み重なれば、やがては「笑顔があふれる田端中学校」となると思います。

そしてみなさんが卒業するときには、「田端中学校でよかった」と思えるような学校にしていきたいです。

これから皆さんと一緒に、この「田端中学校」で頑張っていくのでよろしくお願いたします。